

『心に残る文化財子ども塾』学習指導案

日 時：平成29年6月22日（木）
6年生 10:50～12:30（3・4校時）
大仏パネル等準備 10:00～
場 所：松江市立意東小学校（教室・体育館）
対象者：同校6年 33名
指導者：・意東小……後藤智子
・古代文化C…平石充、吉松大志、佐藤雄一

1. 主題

奈良時代の松江市東出雲町と古代遺跡について
体験：大仏パネル製作

2. ねらい

- ・地域の歴史・文化財を素材とした歴史学習を通し、郷土の歴史や文化に対する興味、関心を高める。
- ・大仏について体験的に学び、奈良時代に対する理解を深める。

3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
A：座学（45分間）	
①講師紹介と本時の流れを確認する。 （5分）	・担任、古代C佐藤が担当 ・講師紹介および古代文化センターの仕事の紹介 ・見通しをもって本時の学習ができるように学習内容を知らせる。
②奈良の大仏と奈良時代について（20分） ○大仏が造られた時代とその背景 ○その時、出雲は、東出雲は。	・スクリーンに画像を投影するなど視覚的にイメージしやすいよう配慮する。【パワポ使用】 ・奈良時代の様子について、事前の社会科の授業で学習をしておく（児童）。 担当：佐藤
③東出雲地域の遺跡（20分） ○東出雲地域の身近で代表的な遺跡紹介 ○東出雲地域の遺跡の出土品を観察する	・出土品の破損等がないよう、観察上の注意点を事前に説明する。 担当：平石
【休憩・移動】（10分）	

<p>B：体験（45分間）講堂（体育館）</p> <p>①奈良の大仏について学ぶ。（5分） ○大仏が作られた時代背景やその製作技術について説明</p> <p>②体験の内容について説明する。（5分） ○手順、注意点を説明してイメージをもたせる</p> <p>③大仏パネルの組み立て体験（20分） ○大仏の巨大さについて体験を通して学ぶ ○1m四方の部品パネルをパズル形式で組み立て、高さ18mの大仏を完成させる</p> <p>④学習のまとめと質疑応答(10分間) ○大仏の特徴について学ぶ</p> <p>⑤片づけ（5分間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・後藤教諭 ・古代C吉松が担当。 ・見通しをもって本時の学習ができるように学習内容を知らせる。 ・大仏について、事前に社会科の授業で学習しておく。 ・大仏パネル組み立て時には、靴は脱ぐ。 ・児童生徒が協力して作業する ・平石、佐藤は巡回指導 ・体育館の2階から完成状況を確認（6年生） （安全に2階へ行けるか確認） ・一方的な説明に終始せず、子ども達が主体的「気づき」を得られるよう質疑応答の対話形式で進行。 ・パネルの端が傷まないようにまとめる
---	--

4. 準備物等

- ・小学校 ……長机、プロジェクター
- ・古代文化センター …大仏パネルセット、パソコン
実物の出土品資料（埋文C：土器、石器、玉類）
パワーポイントデータ、アンケート用紙、カメラ

5. 服装・・・動きやすい服装。（体育館では靴は履かない）

6. その他 埋蔵文化財調査センターHPで、「文化財子ども塾」の学習状況写真を公開することがあります。（別途相談）